

平成21年鹿沼市議会第6回定例会 教育長退任挨拶

(閉会本会議2009年9月29日)

議員各位にはお疲れのところでしょうが定例会閉会前の貴重な時間をいただきまして、一言退任のご挨拶を申し上げます。

西山前教育長の後を受けまして、私は平成17年10月1日に教育長に就任し、はや、4年の任期満了を迎え、このたび退任することになりました。

この間、市議会の皆様や市執行部の皆様には鹿沼市教育の充実・発展のためにご指導やご理解・ご協力を賜りまことにありがとうございました。

私にとりましてこの4年間はきわめて充実した「学びの4年間」であり、「共に生きている」という実感の日々を過ごすことができました。一期一会の出会いや触れ合いに心から感謝したいと思います。
またこのような仕事の機会を与えてくださった方々へも、深く感謝申し上げます。

任期のこの4年間は、市民や保護者・児童生徒の願いや期待に耳を傾けながら、教職員とともに鹿沼市の教育のあるべき姿を模索し、実践してきた4年間でした。

もとより、国づくり・まちづくりの根本は教育にあり、人づくりが要であるということは、時代を超えた「不易の原則」であります。
すなわち教育を語ることは未来を描くことであり、教育は次の世代への私たちの責任であり、

そして良い教育とは、行政と学校現場、教職員と保護者・児童生徒の信頼の上に成り立つ協働作業であるということも鉄則であります。

個別的問題では解決・解消した課題とともに未解決の問題もありますが、それらも含めて次の方にしっかり引き継いでいきたいと思っております。

さいごに、歴史的な政権交代によって、新しい政治が動き出しました。
地方分権・地域主権の教育が、強く求められる時代となり、その方向性は確かなものとなりました。したがって、いまこそ、「かぬまの教育」の特長を顕現し、自然と歴史に育まれた鹿沼の教育文化を継承し発展させてくださることを皆様方にお願ひし、退任の挨拶といたします。
大変ありがとうございました。